

デザインタイムトーキョーとは？

デザインタイムトーキョーは、常に新しいものやシーンを提案するトレード・ショウです。インテリアやプロダクトの商材を中心にしながら、デザインに焦点を当てた幅広い分野の厳選された作品が集まります。同時に、真摯なものづくりを続ける作家たちの新たなアイデアの切り口を、東京から世界に向けて発信するためのエキシビションとしての側面も併せ持っています。

開催概要

日程：2009年10月30日（金）～11月3日（火・祝）の5日間

メイン会場：東京ミッドタウン・ホール

OPEN 11:00～CLOSE 21:00 [最終入場時間 20:30 まで] (予定)

エクステンション会場：都内各所のショップ、ギャラリー、カフェ、美術館など

出展者募集 コンテンツ

1. TIDE EXHIBITION [タイドエキシビション]

デザインタイムの中核。新しい創作とアイデアが発表され、トレードされる場所。

デザイナー、メーカー、バイヤー、ジャーナリストが集い、皆が真剣にデザインと向き合うメインエキシビション。

新作のプロトタイプや商品化されたプロダクトを展示発表する場です。ここではお客様の直接的な反応も見られるのでマーケティング調査の場としても活用できます。また様々な業種の人と出会えることで新しい販路やクリエイティブを生み出すきっかけになります。

2. TIDE MARKET [タイドマーケット]

新しいクリエイションを展示販売し、マーケットリサーチすることが可能な場所。

デザインを実際に手に取れて、購入することができる出会いの場でもある。

ここには世界中のバイヤーやメーカーが訪れます。来場者がつくり手のモノに込められた想いを聞きながらモノを購入することができるので、新しい販路を開拓できます。

3. TIDE EXTENSION [タイドエクステンション]

東京という街全体で行われる作品発表。個々のショップやギャラリーなどが

DESIGNTIDE TOKYO というプラットフォーム上で繋がり、ひとつのエキシビションとなる。

青山、原宿、渋谷、六本木、丸の内などのエリアのショップやギャラリーなどが作品を発表する舞台となります。ショップとしての参加、デザイナーが自ら場所を借りての参加と様々な形がありますが、メイン会場での展示よりも、より自由に独自の世界観でインスタレーションを行うことができます。デザインタイムのブックレット、WEBなどで各会場や展示の情報を掲載し、お客様の誘導をはかります。

